

とうきょう 自治体の仲間

2023.12.18
VOL.403

発行所
東京自治体労働組合連合
〒170-0005
墨田区南大塚2-33-10東京労働会館4階
TEL 03-5940-7951 FAX 03-5940-7957
発行人 矢吹 義則
定価10円
(ただし組合員の購読料は組合費に含まれています。一人に1部配布)
本誌は再生紙(古紙75%以上)を使用しています

http://www.tokyo-jichiroren.org/ E-mail honbu@tokyo-jichiroren.org

「戦争の準備」ではなく「平和の準備」を！ 願いは反戦・平和

日本平和大会in鹿児島に参加して

11月11日〜13日に開催された「日本平和大会in鹿児島」には、全国から9000人、東京自治労連から青年組合員3人を含む5人が参加しました。米軍・自衛隊基地の増強が著しい九州・鹿児島で、4年ぶりの現地開催となりました。

文京区職労
喜納 佳貴さん

開会にあたって主催者報告では大抵、戦争国家路線が、暮しを守る要求と平和外交を求める世論との矛盾を深刻化させていると指摘。「戦争をする国」づくりの具体化に反対する全国の運動を繋いで、連帯の輪を拡大させようと呼びかけました。

続いて、海外からの連帯あいさつ、鹿児島空襲の証言、九州・沖縄での基地強化反対のたかいの交流等があり、壇上には各地ののぼり旗や横断幕が並びました。

引き続き「学びと交流のつどい」が行われ、青年交流企画、鹿児島島の戦争と平和の歴史学習等、参加者高

士による交流が図られ平和の大切さを実感しました。二日目は、シンポジウムと8つの分科会が行われ閉会集会後、鹿児島市内をパレードし、「戦争の準備ではなく平和の準備を」とアピールしました。三日目は基地建設が進む馬毛島がある西之表市(種子島)に船で渡り、反対する市民・団体連絡会との交流集に参加しました。今大会に参加し、基地化がすすむ各地のたかいや海外でのたかいに触れ、参加者それぞれが今後の運動を考える大切な機会となりました。東京自治労連から参加した青年組合員のレポートを紹介します。



参加者による「軍事基地化反対」アピール

参加者の感想



保育に関わる仕事の中で「子どもたちに戦争をしない国を残したい」との思いで参加しました。全体集会で九州各地から軍拡路線への不安が表明されました。これは、ローカ

「平和の準備」とは、今必要な制度や保障について熟考し、誰もが平等なケアを受けられるよう地域に手を伸ばし、人に優しくするためにまずは自分自身を優しめる環境を整えることなのではないかと考えました。初参加者が揃った班だったので、まず私たちの平和と何か具体的に例を挙げてみました。「貧乏じゃないこと」「生活環境が守られていること」「あたたかい布団で寝られること」。

世田谷区職労 尾形 知耶さん
鹿児島空襲を体験された中精さんのお話をお聞きしました。「最近の『ガザ』の出来事は、鹿児島空襲の光景と酷似している。この世界ではあの惨状が繰り返されています。」と語り返されています。

平和憲法を活かした外交を

11月27日、第19回総会を開催し全体で44名が参加。沖縄県民は、第2次世界大戦で島民の4人に一人が犠牲になった痛ましい過去をリジャーナリストの布施祐仁氏が講演しました。その内容は

沖縄県民の危機感

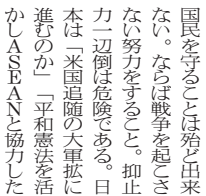
奄美から沖縄の南西諸島の軍備強化は、想像以上のスピードで進んでいる。陸上自衛隊強化、増員配置、基地の集中や自衛隊の急

憲法をいかす自治体労働者東京連絡会

総会・講演会を開催
な配備拡張により、沖縄が攻撃目標になることは、決してあってはならないと政府に要請している。

今後の日本の選択

ASEAN(東アジア諸国連合)は、30年以上東南アジア地域での紛争を予防する活動を進めてきた。その実績は、地球規模の紛争を平和的に解決する力を発揮するに至り、米国も無視できないようになってきた。



沖縄タイムスを掲げる布施氏

「平和の準備」とは、今必要な制度や保障について熟考し、誰もが平等なケアを受けられるよう地域に手を伸ばし、人に優しくするためにまずは自分自身を優しめる環境を整えることなのではないかと考えました。初参加者が揃った班だったので、まず私たちの平和と何か具体的に例を挙げてみました。「貧乏じゃないこと」「生活環境が守られていること」「あたたかい布団で寝られること」。

「自衛」というのが、言葉の間違えである。「自衛」ではなく「禁止」しない神経がわからない。経団連は「年」に25億円も献金している(政治を金で支配するのは問題。ここではそれには触れない)のも問題があるが、それよりびくびくしたのが次の経団連の言葉。「パーティ券は止めるべき」これなを笑止千万。あなた方企業がパーティ券を買わなければそれで解決するはずだ。

「野風俗」
今年も1ヶ月を切った。月日が経つのは早いというは実感としては早過ぎる。馬輪を重ね、明日でも寿命が終わるいつである。

こんな調子で書く時、暗くなりがちになるので、昨今話題になる昨日今日、メディアを賑わせているのは、自民党の政治資金パーティ問題。1千万円で900万円が懐に入る、9割が利益率の悪徳商法、ノルマ以上はいたた、パーティ券利益はキャッシュバック、つまり自分のふところに戻って裏金。自民党の大きい派閥では1億円を超える。もちろん税金はかからないワッハハが止まらない。

批判を受け、岸田首相は「自衛」というが、言葉の間違えである。「自衛」ではなく「禁止」しない神経がわからない。経団連は「年」に25億円も献金している(政治を金で支配するのは問題。ここではそれには触れない)のも問題があるが、それよりびくびくしたのが次の経団連の言葉。「パーティ券は止めるべき」これなを笑止千万。あなた方企業がパーティ券を買わなければそれで解決するはずだ。

パーティ券問題について、記者が官房長官に質問しても回答を控える「連発してのらりくらり」を答えない。これは職務怠慢だ。長官は即時辞任して下さい。

まひん

わたなべ 啓



2024年度予算人員要求闘争 声を要求に 要求を行動へ!

組合員の声が新規採用につながる力に 世田谷区職労

予算人員要求は一人ひとりの声から始まる。区職労は、毎年6・7月頃に「予算人員要求アンケート」を実施し、組合員一人ひとりの意見を求め、職場で回収したのち、分会執行委員と職場委員が協力しながら係・課・部単位などで集約・交渉を行ないます。最終的に6分会や横断組織の要求をまとめ「区職労予算人員要求書」を作成、機関会議で討議し、区側に提出する。こうしたプロセス



報告する福島書記長

を、区職労創設以来欠かさず行っています。職員数の一割を超す切実な人員要求。2024年度予算人員要求書を10月13日に副区長に提出し、1000人以上を擁する保健福祉分会は「超勤する保健福祉分会は、超勤員は、退職や転職によりギリギリの状態や技術の継承がままならない。技術職を含め採用困難職種だが、区の責任で定数を満たし意欲的に働けるよう人材育成も行うべき」と迫りました。情報共有で「見える組合活動」を追求

区長に届けた組合員の声 職場環境改善 豊島区職労



組合員と共に要請

要求書を区長に提出し、要請「社会全体がギブ&テイクしていると感じる中で、我々は区民にそう感じさせない時間を提供したい。まず区が率先してハラスメント対策を区長に提出し、要請。これは、区長への要請行動での組合の訴えです。10月17日、区職労は、2024年度予算人員要求書提出・要請行動を実施。区官からは高階区長など5人、区職労からは36人が出席。重要要求として、①長時間労働削減のハラスメント・メンタル不全対策、②育児休業取得者数を考慮した計画的な職員採用、③業務量に見合った正規職員増員、を要請しました。切実な現場要求をぶつける組合員からは「区民サービスを下させずに事業等」に運用するために適正な数を職員配置を「産休・育休、病欠休暇等の取得者を前提としたワークライフバランス定員の導入を」全ての現場職場に新規採用を「豊島区の子どもを守るために、早急に児童相談所の職員補充と定数増員を」なされた活動を展開し、職場環境改善を目指していきま

なかまの 声

なかまの 健康管理も

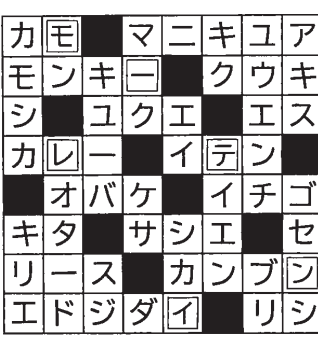
冬になると職場内の乾燥がひどいので加湿器を使っています。毎日使うものなのでみんなで分担して管理

来年への願い
今月もあと1ヶ月、いろいろな事がありました。来年も健康で一日一日楽しく過ごそうと決まっています。

青年部、頑張ります!
今年から青年部として活動することになりました。仲間と力を合わせて頑張りたいです。(江東区職労・所・高岡慶彦)

し、職場の仲間の健康をしっかりと守っていきたくと思えます。
下の賃金増などへの取り組みにおいて、各自治体が団結する東京自治労連の活動を心強く感じています。労働環境改善や適正な業務執行に向けて、声を上げ続けていきたいと思います。

クロスワード 10月16日出題 正解レモンテーター



共済グループ 2024 年新春旗開き & 新春ボウリング大会のご案内

第1部ボウリング大会
会場 東京ドームシティ・ボウリングセンター
日時 2024年1月19日(金) 17時45分 受付開始

競技方法 団体戦: 支部対抗戦 個人戦: 1人2ゲーム 160人
※1支部・1友の会 2チーム8人まで先着順
参加費 1人2,250円
賞品 優勝からブービー賞まで多数もれなく参加賞
申し込み 組合事務所・友の会代表まで
集結日 2024年1月10日(水)

第2部旗開き & ボウリング表彰
会場 TGIフライデーズ東京ドームシティ店 19時35分 受付開始

- 共済グループ旗開き
- ボウリング大会表彰
- 懇親と交流

自治労連共済東京支部
〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10 労働会館4階
TEL.03-5819-7127 FAX.03-5819-7156
http://www.kyoai-group.jp

組合員のための無料法律相談

日時 1月18日(木)13時～
場所 東京東部法律事務所(最寄り駅・錦糸町駅)
担当 船尾 遼 弁護士

次回の先生はこちら!

東京自治労連の組合員はどなたでも無料(初回のみ)。東京自治労連の顧問弁護団の弁護士に相談できます。ご希望の方は下記までご連絡ください。

東京自治労連・法律相談係 Tel.03-5940-7951